



SHONAI

令和5年度

学校通信

No.21

令和5年12月1日
飯塚市立庄内中学校
校長 山下弘喜

学校教育目標

将来ビジョンやその実現に向け時代の移り変わりに対応できる子どもの育成

11/27・28文化祭「I-i まち・I-i 人生」をテーマにいろいろ考えました。

生徒たちの個性が発揮できた2日間でした。それぞれの「I-i」を忘れず令和5年を締めくくりましょう。

庄内中学校
11月27・28日

文化祭

昨年と同様、季節外れの11月の暮れに庄内中学校文化祭を開催しました。1日目は各文化部・各個人発表を行いました。また、地域の方の尺八と琴の演奏をしていただき、体育館がとてもいい雰囲気となりました。

1日の締めくくりは、庄内中学校初のブロック合唱です。3年生のブロック長を中心に、新たな歴史を築いていきました。(詳しい内容は次回通信で)

2日目はU-1グランプリです。生徒の様々な表現で10組の出場者がみんなを盛り上げてくれました。午後からは「I-i まち・I-i

人生」をテーマとしたパネルディスカッションを行ないました。パネラーに西田川高校校長 宮原 清さん。ゆめタウン支配人 木本幸伸さん。飯塚市議会議員 永末 雄大さんを迎え、生徒パネラーには、3年生から奥野昭磨さん、手嶋悠人さん、2年生から徳山功歩さん、友添陽愛さん4名を生徒代表として行いました。当日は、飯塚市教育委員会指定・委嘱研究発表会を兼ねていましたので、飯塚市教育委員と各小中学校の校長先生やキャリア教育担当の先生たちが見守る中でのディスカッションを行ないました。生徒たちは、確かな理由をもとに大人パネラーに質問したり、問い返したり主体的に対話することができました。フロアからも、自主的に手をあげる生徒もいて、学びが深まったと思います。「意見を言いたいけどどうやって言ったら・・・」「むずかしい・・・」等々、モヤモヤとした感じで終わった生徒もいると思います。それでいいのです。答えはありません、その思いをこれからの中学校生活に生かしていくと、今回のパネルディスカッションは成功だと思います。

そして最後は、吹奏楽の演奏で無事1日半の文化祭を閉じることができました。平日なのに文化祭に参加していただいた保護者のみなさん。ネット配信で見ていただいた保護者の皆様、子供たちの成長や学校の様子が伺えたでしょうか。どうもありがとうございました。

この、対話活動は今後も進めていきます。生徒たちの成長を見守ってください。

『U-1 グランプリ』でグランプリを獲得した津野愛奈さん。準グランプリの Hoody (清田結、清田結奈、貝原はな)さんは12/2のイルミネーション点灯式で、歌とダンスを披露していただきます。みなさん応援をお願いします。



グランプリ 津野愛奈



準グランプリ Hoody

